

宮沢地区公民館だより



令和 4年12月1日
発行：宮沢地区公民館
電話・FAX22-0433

第10回 順徳上皇まつり

宮沢みんなの幸せとコロナ終息を

宮沢のロマン、地域のシンボルとなっている順徳上皇まつりが、11月5日（土）宮沢小学校の体育館で行われました。宮沢小創立10周年記念式と児童の学習発表会に続いて開催され、コロナの感染防止を考慮し、神事みの開催となり約120名以上が参加しました。宮沢地域みんなの幸せとコロナ疫病の一日も早い終息、宮沢小の児童の益々の成長を祈願しました。石山実行委員長（代表区長）から、「順徳上皇まつり、宮沢小創立記念式が、同じく第10回の開催となりました。地域みんなの幸せと宮沢小35人児童のミュージカルの発表成功に拍手を送ります。」とあいさつがありました。児童に順徳上皇伝説のリーフと木札のお守り、参加者全員に紅白もちを配り、お祝いしました。



宮沢地区老人クラブ連絡協議会

輪が広がった、輪投げ大会

老人クラブ主催の輪投げ大会が、11月18日（金）感染症の予防のため、検温やマスク着用、換気を取りながら地域交流センターで開催されました。北山副会長のあいさつで、「輪投げは、誰でも気軽に楽しくできます。誰でも、一年ずつ歳はとりますが、輪投げは健康にいいです。各集落公民館でもやっていますので、今日の大会をきっかけに続けましょう」とありました。準備運動で、市健康増進課の結城主任保健師から、血流を良くするための軽い運動で足をマッサージしたり、叩いたり、隣の人の背中をさすったり指導を受けました。輪投げは、4グループの38人が、9本の輪を3ゲーム行い、得点を競いました。日頃、練習している方が多く、横に連続3ポールや斜め連続3ポールを入れて高得点を獲得していました。一方、初めての方は、9本中の内、3本もポールに入ると「やった」と歓声を上げていました。また、参加者全員に夜間の交通事故防止のため、反射シールを配りました。

- 【表彰】 1位 黒山ヤエ（丹生） 2位 高橋康子（丹生）
3位 大貫永子（中刈） 4位 大貫キヨ（中刈）
5位 加賀春子（正殿）



お知らせ

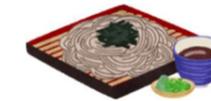
年末年始のおうち時間を豊かに！

そば打ち講習会



参加者募集

日時 12月13日（火）午前10時
場所 宮沢地区公民館
定員 10名
会費 500円（材料代）
持ち物 エプロン・三角巾・マスク
申込締切 12月7日（水）まで
申込先 宮沢地区公民館（22-0433）



おきな茶屋 **ヨガ教室**

12月14日（水）
時間：10:00～11:00
場所：尾花沢市地域交流センター
参加費：500円
持ち物：ヨガマット
(なければバスタオル)

※感染症拡大予防のため、体調の優れない方はご遠慮願います。1月2月はお休みします。再開する時に連絡致します。

【12月の行事予定】

日	内容
1日(木)	令和5年干支イルミネーション原画審査会
6日(火)	おきな茶屋・おたっしや教室
11日(日)	子ども育成会親子ケーキ作り
13日(火)	そば打ち講習会
16日(金)	一人暮らし高齢者宅弁当宅配

※年末年始のお休みは12月29日～1月3日までです。

宮沢宝来吹矢隊募集!!

参加してみませんか？

【活動目標】

吹矢を通じて交流し、免疫を高め、健康な身体を作ろう。

- ・令和4年12月～令和5年3月
- ・毎週火曜日 午後1時30分～3時30分

12/6、13、20、27 宮沢地区公民館

・会費 1,000円

3月中旬吹矢大会を予定

パッチワーク教室の日程

毎週木曜日 9:00～14:00

12月1・8・15・22日

場所：宮沢地区公民館

事務局の小林さんにインタビュー

- ①今年のタイトル「キルトに想いを込めて」。
- ②平成12年から始めて、今年で22年になる。
(仲間づくりと継続は力になっている、みんなに感謝)



(この時だけマスクを取る)

新型コロナ感染状況により、予定が変更となる場合があります。また、参加する際は感染対策にご協力ください。

宮沢地区の人口と世帯

(11/1現在) (前月比)

男 816人 (-3)

女 812人 (-4)

計 1628人 (-7)

世帯数 592世帯 (-2)



見守り、声かけで 重大事故をストップ

地域住民の方に**3つのお願い**

声かけでも姿が見えなくなったら、もう1回確認してけるな。

お年寄りが一人で除雪すっご見たら、「危ないがら、気づけてな。」

除雪作業

隣近所で声かけあってけるな。まず「あいさつ」すっぺ。

だっす

マイナンバーカードが作れます。
12月13日(火)14時~16時
宮沢地区公民館で

<マイナンバーカードを申請する時の持ち物>

- ①本人確認書類(次のA1点またはB2点)
- A 運転免許証、パスポート、障害者手帳等
- B 健康保険証、医療証、年金手帳、学生証等
- ②「通知カード」
- ③「個人番号申請書(QRコード付き申請書)」

※通知カード、申請書はなくても申請可能です。

※マイナポイントは、マイナンバーカードが手元に届いてからの申請となります。

市役所でのほか、サポートカーでの出張申請や郵便局でもサポートします。ぜひご利用ください。

「互いに守る 思いやり」県民運動

12月11日(日)~12月20日(火)

冬は、積雪や路面の凍結、吹雪など視界不良により道路環境が著しく悪化し、交通事故が多発する時期です。次の3点を重点に交通安全を取り組みましょう。

- 1 悪質・危険な飲酒運転の撲滅
- 2 冬道でのスリップ事故防止及び早めのライト点灯・ハイビームの積極的活用
- 3 夕暮れ時からの横断歩行者事故の防止

「ピカピカ運動実施中」交通安全協会宮沢支部

長靴などのかかるとに張る反射ステッカーを宮沢地区公民館で配布しています。



毎日新聞主催 2022、11、17 発表
第50回「毎日農業記録賞」
森山 洋さん(押切)
・一般部門最優秀賞 ・JA全中会長賞
「農業人生九十年をふりかえる」と題した作品が選ばれました。おめでとうございます。

令和4年度やまがた教育月間関連事業
郷土Yamagataふるさと研究コンテスト
小学生部門で宮沢小学校の5、6年生が「さわのはなを通じて、宮沢の良さを発信しよう!」を発表して、最優秀賞をいただきました。おめでとうございます。

3月31日解散の「翁山を愛する会」から宮沢の地域づくりに役立ててほしいと振興連絡協議会に6,741円の寄付がありました。今後の活動に活用させていただきます。

令和4年度
尾花沢市男女共同参画推進事業
12月11日(日) 入場無料

【受付】午後1時

【開演】午後1時30分(90分)

【場所】サルナート

【締切】12月8日(木)



講演会

『私生活の充実が仕事能力を高める』

~仕事と家庭、両立の秘訣教えます~

講師: 安藤哲也氏

(NPO法人ファザリング・ジャパン

ファウンダー/代表理事)

体操で心身ともに健康に

~宮沢女性の会~

11月22日(火)に市健康増進課主任保健師による健康体操教室を実施しました。タオルを使ったストレッチは「痛いことはしないで気持ちよく」を心がけ、「これなら簡単にできるね」と時折笑いありで楽しく行いました。



ふるさと物語⑦大飢饉とき代官所は当地をどう救済したのか

江戸時代の後半には冷害による飢饉が頻繁に発生した。なかでも宝暦5年(1755)、天明3年(1783)、天保4年(1833)の三大飢饉は悲惨を極めた。新庄市の接引寺に立つ石地藏と角沢の丸仏には春秋の彼岸となるとあずきボタ餅がロ一杯付く。飢饉の餓死者の供養地藏なので地元の人々は、どんなにか食べたかったろうと今でもボタ餅を食わせていると言う。

天領初期(当地)は幕府の年貢徴収が厳しかったが、その後幕府は百姓帰服に政策を変えている。そのためか市内には餓死者の記録や供養碑等は見当たらない。では天領では大飢饉のとき領民にどう対応したのか。

細野の『柳橋善兵衛文書』には、天保4年、大貫次右エ門代官の時に「庄内酒井藩に御代官が願ひ5斗俵で1.500俵御無心、大石田に着船、うち細野村へ8俵下され飢えの者助かり候」とある。また天明4年の中島の『原田伝六文書』によると扶食米(救済米)は一律でなく、名主に各戸の男女、大人子供別家族数を調べ代官所に届けさせて支給している。(1日大人で2合か)。そこには善助、彌蔵、弥作など記されており、今の屋号となっているのが数軒あって興味深い。

天明3年の『郡中議定』に、「弥左衛門(尾花沢の大地主柴崎)、茂左衛門(行沢)、善兵衛(細野)、彌蔵(丹生)、與惣次(押切)、傳六(中島)、扶食米4.550俵、此代金式千両程五ッ割(5ヶ年返済)ニテ御用金差上、右米下郷村々江夫食に貸渡。『東村山郡史』。とあり、当地の地主たちも救済に寄与したものと思われる。

柳橋家の天明年間に記された『違作凶作日記』には、藁団子、土餅、松皮団子を作り、わらび根、あかぎ、山牛蒡根、シイナ、ところ根、草木々の実等を食しなんとか命をつないだとある。これ等代用食を上杉鷹山公が『かてもの』に記して領民に配った事は有名。

大貫代官は飢饉時に領民を救済した功績で「飢渴切格別御厚恩碑」が建立されている。また辻代官や田口代官の功德碑もある。天領はいわゆる「寄らば大樹の陰」で飢饉のときは小藩に比べ恵まれたと思われる。ただ私藩(大名)は人材が藩の盛衰を決めるので藩校(興讓館、致道館など)を設立して人材育成を積極的に図ったが、逸材が輩出すると困るのか、天領では人材育成はあまり見られない。

参考『尾花沢代官関係資料』(尾花沢市史編纂委員会)

文責 宮沢地区歴史保存会 三浦 幹雄